



第 135 号
 千葉県肢体不自由児者父母の会
 会長 西長 和子
 編集人 父母の会広報部
 千葉県美浜区磯辺2-21-1
 TEL・FAX 043(303)0582
 fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

第60回総会

5月17日(木)、千葉県ハーモニープラザにおいて、第60回千葉県肢体不自由児者父母の会の総会が開かれました。
 初めに故中島会長に黙祷を捧げ、ご来賓の鳩川進様、白井正一様よりご挨拶をいただきました。次に成人を迎えられた中川涼太さんに記念品が贈呈されました。



しっかりと記念品を受けとってくださいました

議案は全て承認され、西長新会長とともに新たな年度がスタートしました。



ご挨拶

千葉県長 熊谷 俊 人

千葉県肢体不自由児者父母の会におかれましては、この度、創立60周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。
 貴会は、障害のある方への理解が進んでいるとは言えなかった昭和33年の発足以来、肢体不自由児者の福祉の増進に取り組まれるとともに、平成13年の「ディアフレンズ美浜」の開所に当

たり中心的な役割を果たされるなど、会員の皆様が一致団結して、様々な困難を乗り越えられ、数々の功績を積み重ねておりますことに、深く敬意を表します。
 また、父母の会の皆様には、本市の障害福祉施策の10年後を見据えた「千葉市における障害福祉施策に係る中長期指針」の策定や、喫緊の課題への対



就任の挨拶

会長 西長 和子

会員並びに関係機関の皆様には、日頃より多大なご支援、ご協力を賜わり深く感謝申し上げます。

この度、会長に就任いたしました、西長和子と申します。
 今年度父母の会は60周年という節目の年となりますが、父母の会の歴史にも私たちの大切な子ども達にもこれぞ終わりということはありません。身近な所では千葉市も東京2020年のオリンピック、パラリンピックで会場になります。昨年度は父母の会でもボッチャ大会を実施いたしました。世の中が障害者に目を向けつつあります。障害者の周りではいかがでしょうか。障害者差別解消法が施行されて、障

害者の身分は保証されるようになりましたが、心の差別が解消されなければ共生社会の実現はありえません。日頃疑問に思うこと、こんな不便なことがあったなど、どんな小さなことでも結構です。教えて頂きたいと思っております。
 行政に積極的に働きかけて、保護者もお子様も一人一人が充実した生活を送れるような日々になることを次の一歩として、微力ではございますが、皆様のお力添えを頂いて精一杯努力してまいります。
 更なるご指導、ご鞭撻をお願いいたします。就任の挨拶いたします。

応方針や具体的な事業案を提言いただいた「千葉市地域自立支援協議会運営事務局会議の検討会」への参画など、貴重なご意見・ご提言をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。
 さらに、皆様から貴重なご意見・ご提言をいただき策定した、今年度を初年度とする「第4次千葉市障害者計画・第5期千葉市障害福祉計画・第1期千葉市障害児福祉計画」では、親亡き後を見据えた支援や、重度もしくは特別な配慮を必要とする障害のある方へのサービス提供体制の整備を、まさに、喫緊の課題ととらえ、計画の重点課題

として、「見える化」を図りました。
 障害福祉サービスは、近年、充実してきたところですが、医療的ケアなどの重度の障害に対応できる体制は、まだまだ不十分で、解決すべき課題は多くあることから、引き続き、皆様の一層のご支援・ご協力を賜りながら、着実に、重度の障害のある方たちへの支援を推進して参ります。
 結びに、千葉県肢体不自由児者父母の会がますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

60周年を迎えて — 想いをつなげよう —

社会福祉法人春陽会理事長

白井日出男

会」と「ディアフレンズ」を、よろしくご支援賜りますようお願いいたします。

ディアフレンズ施設長

中島幸一郎

千葉県肢体不自由児者父母の会が、創立60周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和33年に設立されて以来、60年の永きにわたり、千葉市における肢体不自由児者の中心的な団体として、大変なご苦労とご尽力を続けられ、数々の大きな成果を上げられましたことに心より敬意を表するものであります。

当施設におきましては、障害者施設の役割を果たし、地域社会に必要不可欠な施設として、地域で障害があってもなくても、希望する暮らしの実現に向けた支援、共生社会を推進するための原動力となるよう施設運営を行ってまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方におかれましては、60周年を契機に、さらなる肢体不自由児者の福祉向上と社会参加の推進をめざし、ますますのご発展と、ご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



中島前会長就任時

ディアフレンズ美浜保護者

早川 雪子

父母の会に入ったのは約30年前、娘がすぎのこルームに通うようになった時です。それまでは県リハで母子入園や機能訓練をし、娘の状態を学び認識しました。「障害」について何も知らず訓練することで改善されていくものと思っていました。

入会してわかった事は、障害者の生涯について準備されているものは不十分で満足できるものはないことです。

先輩方が学校や卒業後の進路先、社会参加を心配し、声を上げ、ある程度は整っていましたが、親亡き後を託す施設については市に一つしかありませんでした。幸いにもディアフレンズ美浜の建設に携わり、入所しほつとして10数年が経ちました。親もずっと元気なら良いのですが、娘の終末期の居場所への不安は残っています。

ハピネス浜野保護者

久我 寿子

還暦を迎えおめでとございます。5歳で父母の会の会員にいただいた息子も38歳になりました。

いろいろな行事に参加してきました。まず、思い出すのが何と云っても群馬県にある千葉村での雪上訓練、家族で行くのが難しい中、兄を連れての参加、地元のボランティアさんにお世話になって、そり遊びやスノーモービルに乗せてもらったりと親子共に、とっても楽しかった良い思い出です。

これまで悲しい親との別れ、子供との別れ、沢山ありました。

今後ますます親の高齢化に伴い、参加しやすい楽しい企画を待っています。そして、貴会の今後の発展を祈ります。



初代会長 白井春江子様と

すぎのこ通園と同時に父母の会に入会し25年、理事になって17年が過ぎました。長い間広報に携わってききましたが、部長最後の年にのびるでお世話になっているフォトタイプ布施さんに紙の質をおとしてカラーにしては?というお話をいただき現在ののびるになりました。白黒に比べ読み易くなった、写真がきれい等好評で本当によかったと思っています。各部の活動も、長い間会の財源を支えてきた事業部は、会員相互の親睦のための厚生部と変わりましたが、昔と比べ理事の人数は減りましたが、行事部や研修部も時代の流れや会員のニーズに合った企画をと頑張っています。

福祉サービスが充実し、簡単に情報が入手できる今、会員の減少等父母の



グループホーム春陽苑

父母の会副会長

菊池 恵美

会もいろいろの問題に直面しています。一人ひとりの力は小さくても、集まれば大きな力になります。60年続いてきた親の想いをこれからも未来へ繋げていきたいと思います。

ディアフレンズ美浜入所利用者

中島 規雄

千葉県肢体不自由児者父母の会創立60周年の物語が始まります。昔の父母の会の事務所は千葉市中央区亥鼻の千葉城の近くの保育園を借りて活動しておりました。

両親は、子どもの為自動車免許を取りました。母親は自動車で特別支援学校の子どもの育ててくれました。特に母親達は、自分の事は後にして先に子どもの介護、介助をしてくれました。やつ



育成旅行 (中央が中島規雄さん)

ぱり障害児者にとって「私は、素晴らしい人達です。これからもよろしくお願い致します。

私もこの夏で還暦になります。父母の会と一緒にです。父母の会と60年共に過ごしてきました。

創立50周年記念沖繩旅行に行きとても楽しかったです。父と母と私も参加しました。美ら海水族館に行った時の海岸はともきれいな事を思い出しました。あれから10年、月日の経つ速さを感じさせられました。

父母の会の会員の皆様の中には、70歳〜80歳代の両親もいます。ディアフレンズ美浜が出来ました。障害者達が安心して生活を送る事ができ幸せです。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

桜が丘特別支援学校保護者

近藤 美紀

平成21年に父母の会へ入会し、当時小学3年生の息子と夏期休暇支援やクリスマス会などの行事に参加しながら、今年高等部3年生になり成長と共に9年の月日がたちました。

法律の改正により自立支援法に移行された後に学校に入学し、制度の内容から始まり、息子に必要な事などを勉強する講習会、研修会に参加したり、日々の生活で困った事は、先輩のお母様に相談すると色々アドバイスを頂けてとても心強く思いました。

来年4月から施設通所を希望してい



ディアフレンズ大宮 活動風景

ます。親子で父母の会がもっと身近に感じることと思います。

袖ヶ浦特別支援学校保護者

小金澤さとみ

創立60周年おめでとうございます。昨年は施設見学、防災や福祉制度の研修会、パン作りや音楽療法の行事等に参加し、会員の方との交流、先輩方の経験談など聞かせて頂き大変勉強になりました。またクリスマス会では習志野高校の魅力溢れる素晴らしい演奏に感動し、心温まる幸せな時を過ごさせていただきました。

60年の歴史、先輩方の尽力に感謝しつつ、下の世代にも繋げていける様、卒業後の生活の場の確保、施設不足等の課題について会の一員として皆様と考えていきたいと思ひます。

平成30年度父母の会運営役割

会長 西長 和子
 副会長 友野 ルル・田中扶美子・菊池 恵美・池上 玲子
 監事 草刈由美子・増田みすず

部名	部員名	活動内容
総務部	会長 副会長 部長 副部長	・理事会及び総会の運営 ・事業の企画立案
研修部 (4名)	◎山中 雅美 富井るり子 ○小澤さとみ 中山 薫	・子ども達の進路確保及び 福祉向上のための調査・研究 ・施設見学・講演会 他
広報部 (4名)	◎橋本美保子 大村 千佳 ○近藤 美紀 箱石由美子	・会報「のびる」の発行 3回/年間 ・「父母の会だより」の発行(随時)
厚生部 (4名)	◎浅野真由美 栗飯原礼子 ○大坂 光世 栗原美由紀	・会員相互の親睦と交流を図る ための行事の企画実施 ・育成旅行
行事部 (5名)	◎野田 純子 平子 愛子 ○伊東 薫 有田 克子 江波戸玲子	・クリスマス会 ・夏期休暇支援
◎印 部長 ○印 副部長		

活動報告

5月17日 第60回総会

5月28日 県肢連総会

6月21日 保護者の親睦旅行

「はとバス」ツアー

6月28日 研修会

「障害児者の育て方・見守り方」

総務会
理事会

4月9日
4月16日

7月2日
6月11日



四月七日にご逝去された
中島前会長を偲んで

副会長 友野 ルル

「ディアフレンズ美浜」が開所した年から会長・副会長としての役割が、丁度18年目に入ったところでした。



関プロ茨城大会にて

県肢連会長として来年6月29日に開催される関プロ千葉大会を「力を合わせて成功させなければね」と穏やかな表情で話していたことを思い出します。どんな局面でも速やかに解決して下さり、私たちはのびのびと活動する事が出来ました。「クリスマス会」でのサントさんの雰囲気そのままの大きな方でした。また、社会福祉法人春陽会の理事として「ディアフレンズ美浜」「ディアフレンズ大宮」グループホーム「春陽苑」設立に多大なご尽力を頂きました。改めて感謝致しますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

プール事業参加者募集

親子でハーモニープラザのプールに入り緊張を緩め、ゲームや体操を楽しみながら水と親しんでいます。また、障害児者の水泳指導に携わるNPO法人「ゆめけん」による講習会を年3回実施、充実したプール活動になっております。
 ぜひご参加ください。
 日時 毎月第3日曜日
 13時30分～15時30分
 詳しくは父母の会にお問い合わせください。
 申し込み・問い合わせ先
 父母の会事務所(303)0582

★千葉県障害者福祉大会

日時 12月1日(土)
場所 ハーモニープラザ

多目的ホール

講演 為末 大氏

(スポーツコメンテーター)

詳細は別途お知らせします

夏期休暇支援

◇8月2日(土)

○竹内和美先生による音楽療法&お菓子作り&絵本

場所 ハーモニープラザ

多目的ホール

時間 10時～15時(予定)